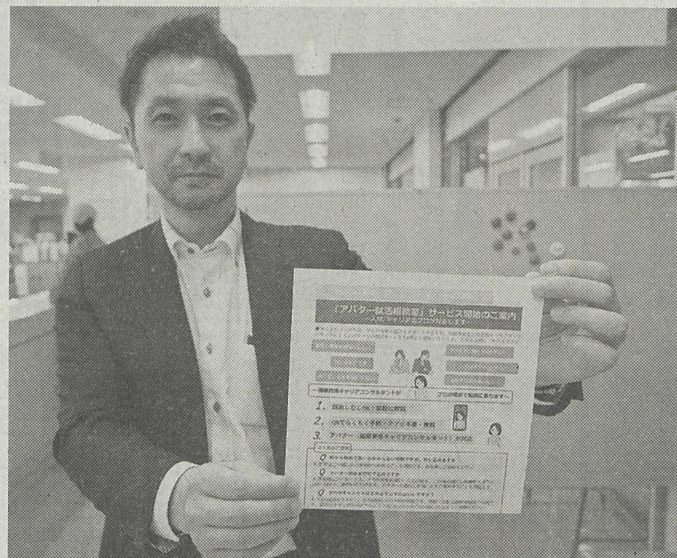


釧公大にアバター相談室

全国大学初学生の就職活動支援

釧路公立大学（白川欽哉学長）は1日から、キャリアコンサルタントが自身の分身「アバター」を介して、カウンセリングや面接対策など学生の就職活動支援を行う「アバター就活相談室」を導入した。学生に気軽に相談してもらおうと、大手人材派遣会社「パソナ」（東京都）が運営する「アバターワ



在校生向けサービス「アバター就活相談室」をPRする江端巧学生課長

ークサービスを活用し、全国の大学で初めて試みた。同大では2012年度に同社と連携して「学職カフェ」を導入し、全国各地にある同社の事業所などで学生と対面での就職支援を開始。21年度からは「学職オンライン」として、オンラインでの就職支援を行ってきた。今回導入したサービスは、同大の在学生であれば、キャリアコンサルタントの国家資格を持つアバターに、就職に関するさまざまなことをオンラインで無料相談できる。学生側も顔出しする必要はなく、自宅や外出先、スマホでの利用も可能だ。同大では、専属キャリアコンサルタントが所属するキャリアセンターを設置し、学生の就職支援活動を展開しているが、昨年12月の同相談室のデモトレーニングで約10人の学生が体験。「気軽に利用できる」などと好評だったことから、今回の本格導入を決めたという。今後も学内のキャリアセンターは継続させ、同相談室との両輪で就職支援活動を行う。

同大学生課は「今後も学生の就職支援に力を入れていく。在学生はどんなささいなことでも、気軽に相談してほしい」と話している。

（森崎博史）